

就農とお金のはなし



新規就農は耕作放棄地や後継者問題などが目立って“就農大歓迎！”という感じがしますが、実際に就農しても現実には「お金」の問題でつまづくことが多いのです。

このリーフレットでは、就農時に問題になるお金についてご説明します。

1 新規就農にお金ってかかるの？

農家が普通に使っているトラクターや倉庫。これらは実はかなり高額で、祖父母・親・自分の代と何代にもわたって少しずつ集めてきたものがほとんどです。

しかし、まったく新規に外部から就農した場合、今さらクワで手作業とはいかないので、トラクターなどを新品でも中古でもいいので調達しないと、とてもじゃないができません。

したがって、最初はこれらの費用がかかります。しかも、慣れないうちは作物の出来も悪く、収入が安定しないため、結局、以前からの貯金が当面の生活費になるということもよくあります。

2 えっ！いくらかかるの？

実際にどのくらいかかるのか、北九州市での“目安”を見てみましょう。

種類	新品	中古
中型トラクターや小型農機	80～200万円/台	30～120万円/台
ビニールハウス（小型単棟）	4,000円/㎡	2,000円/㎡
肥料や農薬（1作あたり）	3～8万円/10a	
農地（水田・借地料・北九州市）	6,000～20,000円/10a/年	

もちろん機械などは買わずに借りる方法もありますが、レンタル業者がいるわけではないので、支援してくれる農家を探し個人的に貸してもらうことになります。

3 じゃあ、実際の就農資金はいくらくらいかかるの？

新規就農から経営が軌道にのるまでには通常4～5年かかるとされています。

この間の経費の目安はつぎのとおりです。

種類	金額
営農資金としての準備額	800万円
生活資金としての準備額	400万円
実際に要した経費	1,600万円

実際の経費は、これよりかなり変動しますが、それでも安くはありません。

そのため、貯蓄のみでなく、支援制度などを活用しながら就農しないと現実的ではありません。

4 北九州市の場合はどうなの？

北九州市で就農する場合でも、様々な制度などを活用しながら経営を軌道に乗せているのが実態です。

ただ、実際に軌道に乗せるにはかなり入念な準備や対応が必要で、その内容は就農者一人一人で違いますし、皆さん、当初の就農イメージと実際の営農結果は違ってきます。



新規就農の相談は
こちらにどうぞ



北九州市内のご相談は

門司区・小倉北区・小倉南区の案件は

北九州市 東部農政事務所

北九州市小倉南区若園5-1-2 小倉南区役所 4F

☎ (093) 951-1020 FAX (093) 922-6403

若松区・八幡東区・八幡西区・戸畑区の案件は

北九州市 西部農政事務所

北九州市八幡西区光明1-9-22 折尾出張所 2F

☎ (093) 693-9912 FAX (093) 693-0675

北九州市・中間市・遠賀郡内の方は

福岡県 八幡農林事務所 北九州普及指導センター

北九州市八幡西区則松3-7-1 福岡県八幡総合庁舎 2F

☎ (093) 601-8855 FAX (093) 601-8869

福岡県域でのご相談は

福岡県農業会議

福岡市中央区天神4-10-12 JA福岡県会館

☎ (092) 711-5070

(財)福岡県農業振興推進機構

福岡市中央区天神4-10-12 JA福岡県会館

☎ (092) 716-8355